

KELES Newsletter

関西英語教育学会
ニューズレター

2005年(平成17年) No.3 5月号

事務局

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

TEL:075-466-3261(直通)

E-mail: keles@infoseek.jp

編集発行: 関西英語教育学会(KELES)

立命館大学産業社会学部 吉田研究室内

FAX:075-465-8196(大学事務局)

Home Page: <http://keles.hp.infoseek.co.jp/>

第9回 関西英語教育学会(KELES) 研究大会開催のご案内

今回の大会では、我が国を代表する著名な英語学・言語学の研究者を講師としてお招きし、きめ細かい議論を通して、最近の言語研究の成果を英語教育に活用する方策についてお示しいたします。

学界の泰斗である高見健一先生(前東京都立大学・現学習院大学)には、「使役文について」の題で大会基調講演をお願いいたします。また、英語学各分野の権威である織田 稔先生(元関西大学)、赤野一郎先生(京都外国語大学)、山本英一先生(関西大学)の3先生には、認知言語学、コーパス言語学、語用論の立場から「最近の言語研究を英語の学習指導にどう生かすか」について、シンポジウム形式でご発表をお願いいたします。

ワークショップは3件開催され、それぞれ、認知的言語研究、リフレクション、Teaching English through English をキーワードに意欲的な提案がなされます。

研究発表・実践報告では、音声指導、小学校英語教育、評価・テスト、語彙・コーパス、4技能、動機付け・態度、学習活動等について合計30件の発表が行われます。

2日間の研究大会が日頃の先生方の教育研究活動の一助となることを祈っております。

(KELES事務局一同)

日時: 2005年5月28日(土) 29日(日)

会場: 同志社大学 今出川キャンパス

研究大会は寒梅館(学生会館)で行われます。同封のプログラムの地図をご参照下さい。

事前参加費および懇親会費の事前振込
同封の郵便振込用紙をご使用下さい。

大会参加費: 一般 2000円、学生 1000円

懇親会費: 一般 3000円、学生 2000円

締切り: 5月16日(月)

総会「委任状」について

当日は総会が行われます。2004年度決算報告・事業報告、2005年度予算案・事業計画、学会業務・紀要の電子化、会員向けML等、重要案件が多数ございますのでご出席下さい。万が一欠席されます場合は、電子メールまたは葉書で事前に下記の様式で委任状をお送りいただきますようお願い致します。

- ・ 送信先: keles@infoseek.jp 郵送先: 事務局
- ・ 5月20日(金)必着

===== 委任状 =====

関西英語教育学会会長殿

私は総会における議決を議長に一任します。

2005年()月()日

ご氏名()

ご所属()

e-mail ()

=====

研究大会に関する問い合わせ

同志社大学 赤松信彦、または、KELES
事務局まで [keles@infoseek.jp]

和歌山地区セミナー報告

日時:3月19日(土曜)

会場:和歌山市民会館4階第1練習室

担当理事:松田雄治(国立和歌山高専)

数年の空白期間を経て、久々に和歌山地区でセミナーを開催した。地元・和歌山大学の奥田隆一先生や兵庫教育大学の今井裕之先生らのご協力を賜り、4名の現職の小・中・高・高専の先生方から申し込みをいただき、それぞれの体験を踏まえた研究成果を発表された。最後に神戸大の沖原勝昭教授の特別講演で、今回のセミナーに花を添えていただいた。

(松田雄治 国立和歌山高専)

自由研究発表

1) 「Reception strategy を使ったリスニング活動」

戸川定昭 海南市立第一中、兵庫教育大・院某公立中学校の44名の生徒を、被験者として reception strategy の実験に供した。9つのセッションのうち、当該研究者とのマンツーマンによる reception strategy の実践をテープ録音し、これを分析した(data not shown)。さらに上級グループ(15名)からの成功例を、さらに下級グループ(14名)からの失敗例を、それぞれ定性分析した。結果として、ほぼ全数の被験者が reception strategies を用いてスクリプトを理解しようと非常に真摯に、かつ楽しみながら、取り組んだことが認められた。ペアワークでは、読み手は、パートナーにスクリプトの内容を把握させるべく、熱心に試行を重ねた。被験者の熟度によって reception strategy に際立った特徴が認められたが、リスニング効率の悪い被験者の listening comprehension を向上するために、このような特徴をいかに再現させるかについては、今後のさらなる検討を待たねばならない。

2) 「工業高等専門学校における英語教育 - 現状と展望 -」 森岡 隆 (国立和歌山高専)

全人教育のための教養英語、エンジニアに必要な技術英語、コミュニケーション・ツールとして

の英語、具体的には、英文の取扱説明書や電子メールを読み書きができ、英文のHPや論文が読め、諸外国の工場・研究所で話される英語の基本的な部分が聞き取れ、その会話に加われる。以上は、工業高専での英語教育の理想である。”A”高専では、カリキュラムや学年配当で試行錯誤しており、「Grammar-Translation method への圧倒的な支持があり、会話練習などの発話行為の恒常的な不足」が現実の姿である。故に communicative なものへ移行させ、英語を発話させる機会を多く持たせる努力はされている。(株)アルクの Net Academy の利用や、論者が携わっているメディア教育開発センターの COCET 3300 (理工系学生のための必須英単語 3300) の編集は、その一環である。また、高専の英語教員による研究発表や、研修会への積極的な参加が望まれている。

3) 「'Read-and-Look-Up'を用いた音読が聴解能力に及ぼす効果」

土井美由紀(和歌山商業高、和歌山大・院)

1)音読能力(速度、内容理解、流暢さ)と聴解能力とは相関関係にある、2)Read-and-Look-Up による音読訓練は音読能力(速度、内容理解、流暢さ)を向上させる、3)Read-and-Look-Up による音読訓練は聴解能力を向上させる、という3つの仮説を、英語学力に有意差のない公立商業高校の1年生2クラス(実験群 38名、リスニング+Read-and-Look-Up; 統制群 40名、リスニングのみ)を使い、検証した。さらに音読に対する意識調査(両群)と、Read-and-Look-up の授業に対するアンケート調査も実施した(実験群)。その結果、Read-and-Look-Up は、聴解能力を向上させた。アンケートでも、約8割の生徒が聴解能力の向上に役立ったと答え、学習者の意識レベルでも効果が認められた。ただし同手法によるリスニング指導には瞬時にチャンク分けできる統語能力が必要である。さらに同手法のどの部分が聴

解に功を奏するかは、今後の調査が待たれる。

4) 「小学校英語教育の問題点 - 教育方法に視点をあてて -」

辻 伸幸(貴志川町立中貴志小・和歌山大・院)
2003年5月1日現在、全国にある22,526校(100%)の小学校のうち、19,897校(88.3%)において小学校英語の授業が実施されている。この小学校英語活動の問題点として、Repeat after me 型の練習の多用、発達段階を考慮していないフォニックス導入、ALT 等ネイティブ講師への指導依存、日本語翻訳への過剰依存、があげられる。このような問題点を解決するには、子ども達の発達段階と興味関心にあわせることが肝要である。具体的には、(1)多用されているRepeat after me 型の練習を、Repeat after me 型の練習を意識させない工夫が必要であり、(2)児童の発達段階を考慮していないフォニックスの導入から、高学年に適した文字導入の工夫が求められるし、(3)ALT 等のネイティブ講師への指導依存から、学校教員主体の指導を実行し、さらに、日本語翻訳への過剰依存から、段階的な日本語使用の減少へと、移行していかなければならない。

特別講演

「私の英語授業実践：大学から中学・高校へ」

神戸大学教授 沖原勝昭

1 背景

学生の実態：経済学部、経営学部、法学部、文学部、理学部、工学部、農学部、国際文化学部、発達科学部、医学部、海事科学部の11学部を有する総合大学の学部生で一般教育課程にいる学生うちの経済学部生と工学部生が受講者である。

シラバス：平成15年度の全学共通授業科目にある「オーラル」は、音声を通じて英語コミュニケーションの全般に熟達し、日常の場面での英語を無理なく使いこなせるようになることを目指すものである。他方の「リーディング」は、高校

で履修した文法事項の徹底的理解とそれに基づいた基礎的読解力の習得を目指している。「リーディング」は、「リーディング」で培った基礎的読解力を応用、発展させ、緻密な読解力と迅速な内容把握力を育むことを目指すものである。

2 授業の概要

「オーラル」資料1(ブラジルの大学で講義している米国人教授が、現地学生の授業への遅刻と、アメリカ人学生のそれについての文化的差異を題材にした長文の読み物)

目標と趣旨は、オーラルサマリー(読んだ内容を口頭で再生するもの)である。

この教材は、初級・中級レベルで視覚化できるものであり、指導課程では、読解チェック→カセット録音→モデル提示→再録音→プレゼンテーション→次週の導入、という順を追ったものである。

成績評価は、ノートのチェックと、録音カセットのチェックに基づいている。

「リーディング」資料2(“Going under”(水没する島々)および“Rising Sea Level Forcing Evacuation of Island Country”)

趣旨・目標は、緻密な読解力と迅速な内容把握力(精読と速読)である。教材としては精読用テキスト+速読用投げ込み教材であり、指導課程としては、(復習)→本文カセット→精読→解説→速読→説明・解答という流れである。

成績評価は、ノートのチェックとレポート(英文収集とコメント)の提出である。

3 反省と問題点

資料3(「学生による授業評価の集計結果」：「英語オーラルB」、「英語リーディングB」)

授業アンケートから、「学生の満足度はほぼ良好」といえるか、また、英語学習を促進するものになっているか、という問いがでてくる。

問題点として、他の授業との連携が不十分、半年間の上達度が不明、学生からの途中フィードバックが不十分、さらに、学生の声をどうやって出させるか、が列挙できる。また、よりよい授業のために、“Do ordinary things extraordinarily

well.”を提唱する。さらに、指示や説明を大きな声ではっきりと伝え、事前に目標・方法・成績評価法を明示し、教えたことをテストすることを徹底すべきである。(文中敬称略)

名簿改訂のお知らせ (予告)

本学会では2年ごとに会員名簿の改訂を行っています。そのための調査を6月に行いますので、ご協力いただきますようお願いいたします。名簿係 倉本(広島国際大)

年会費納入のお願い

同封の振り込み用紙で年会費をお支払いいただきますようお願いいたします。

1. 一般会員(関西のみ) 5000円
2. 一般会員(関西+全国) 7000円
3. 学生会員(関西のみ) 3000円
4. 学生会員(関西+全国) 5000円

郵便振込: 00910 - 7 - 39666

加入者名: 「関西英語教育学会」

問合せ先: 会計: 岡良和(人間環境大)
oka@uhe.ac.jp

新入会員 (2005年4月27日現在)

徳永 里恵子、迫田 正樹、宮下 亜矢子、奥田 隆一、林 桂子、杉田 麻哉、岡本 清美、居戸 厚子、濱本 陽子、木村 佐和子、原 宗史、飯島 梢、横田 玲子、吉仲 道雄、石川 真美、外山 由美子、伊藤 恵哉、弓削 修教、中島 正恭、鷲見 俊幸、奥野 久、稲岡 ひとみ、徳永

憲昭、的場 真弓、川口 剛、高田 敦子、吉川 宏之、岡本 真由美、竹内 成美、西谷 敦子、黒木 彩加、野村 直美、宮長 博子、今村 一博(以上、申込順、敬称・所属略)

今後の予定

第31回全国英語教育学会札幌研究大会

日時 2005年8月6日(土)・8月7日(日)

場所 北海道教育大学札幌校

研究発表・実践報告申込締切: 6月1日(水)

詳細は大会要綱ホームページをご覧ください。

[<http://www.jasele.org/>]

新入会員勧誘のお願い

学会ホームページから学会リーフレットをダウンロードできますので、新入会員勧誘にお役立て下さい。[<http://keles.hp.infoseek.co.jp/>]

入会希望者がおられましたら、名簿係の倉本(広島国際大)までご一報(電子メール等)いただきますようお願い申し上げます。

[keles_nyukai@infoseek.jp]

他学会の動向

JACET 関西支部春季大会: 6月4日(土)和歌山大

LET 春季大会: 5月21日(土)同志社大(京田辺キャンパス)

(発行日 2005年5月6日)

会員の大会参加費および懇親会費の事前振込のおすすめ

- ・大会参加費: 一般会員 2,500円→2,000円
学生会員 1,500円→1,000円
- ・懇親会費: 一般会員 4,000円→3,000円
学生会員 3,000円→2,000円

同封の郵便振込用紙をご使用下さい。

締切り: 5月16日(月)